

答 申 書

平成29年11月7日

熊野町長 三村 裕史 様

熊野町行政改革懇談会
会 長 岡崎 磊造



平成29年11月7日付けで諮問のあった事項について審議したので、下記のとおり答申します。

記

1 諮問事項

(1) 第5次熊野町行政改革大綱実施計画の取組状況【平成28年度】

2 答申内容

(1) 熊野町行政改革推進本部から提出された「第5次熊野町行政改革大綱実施計画の取組状況【平成28年度分】」については、適正に行われたと判断する。

＜＜第5次熊野町行政改革大綱実施計画の取組状況

【平成28年度分】に関する意見書＞＞

国では、景気が穏やかな回復を続けているが、地方経済は未だ低迷を続けており、厳しい行財政環境の下、今後も社会保障費や公共施設の改修等に多くの歳出が見込まれ、行政改革大綱実施計画は、限られた財源を有効活用するために必要不可欠なものである。

また、この計画は時代の変化に柔軟な対応をするため、職員一人ひとりが、住民視点に立って、改革意識を向上させること及び安全で安心なまちづくりにつながるものである。

よって、行政改革の推進に役立てられるよう当懇談会として次の意見を提言する。

1 住民との信頼関係を強化する

- ・住民に分かりやすい行政情報の公開・発信・充実に努めるとともに、個人番号などの情報管理を適切に行うこと。

2 住民との協働のまちづくりを進める

- ・地域協働や住民参画の推進を図り、まちづくりへの住民の参画機会を拡充するとともに、地域協働の仕組み作りを推進すること。

3 自主性・自立性の高い財政運営を行う

- ・収納対策の強化・多様化など、歳入の安定的かつ持続的な確保に努めるとともに、事業の「選択と集中」による歳出の最適化を図り、健全な財政運営を行うこと。

4 社会の変化に対応できる行政運営を行う

- ・適正な職員配置による効率的な組織体制の確立を行い、行政経営サービスの推進及び情報化による行政サービスの充実を図ること。

熊野町行政改革懇談会

会長 岡崎 磊造（熊野町商工会）

委員 山吹 富邦（熊野町議会）

委員 菅田 賢宏（熊野町自治会連合会）

委員 濱寄 瑞恵（熊野町女性会）

委員 小坂田 忠（行政相談委員）